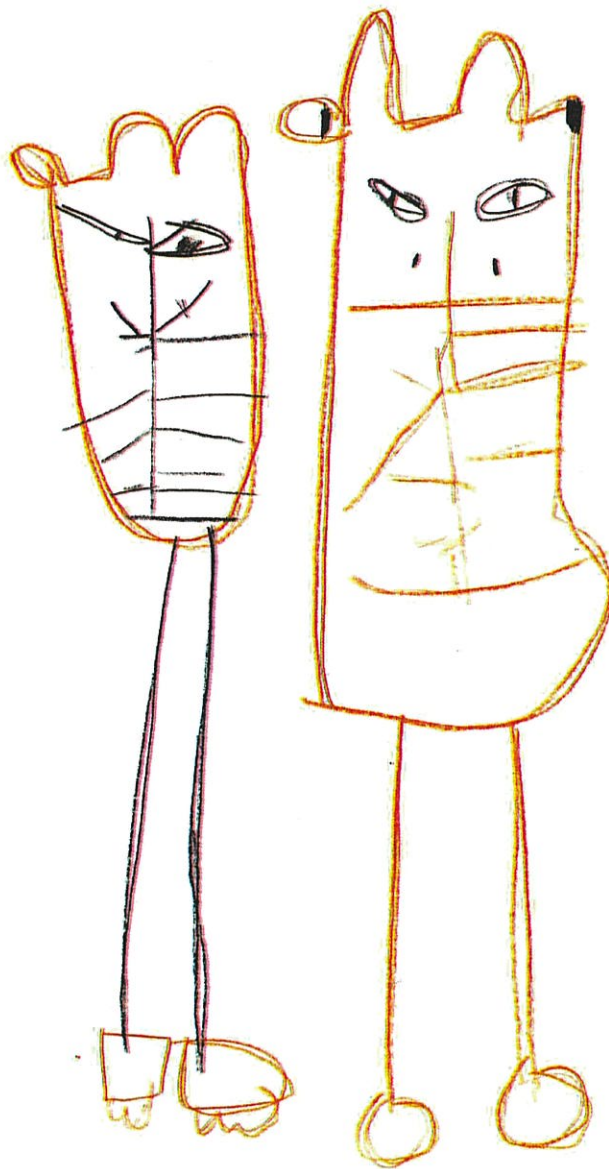


年次レポート

2022-2023



社会福祉法人 調布を耕す会

「 コロナが残したもの 」

最近、「普通がいかに大事か又、いかに大変か」と考えることが多くなりました。コロナウイルスの影響で、普通にしていた催物が3.4年中止になり、今年は順々に戻りつつあります。調布市の花火大会は9月24日に行われます。

コロナの影響で何が一番大事か、それはどうやれば良いかを考えるようになりました。「普通」は何もしないではやって来ません。努力して、頑張っってやって来るものです。ご飯を食べて、水を飲んで、息をして、泣いて、笑って、怒って、動く。「普通」を支えているものがいかに多いことか。

人間の体は絶えず変化している。昨日と今日は違うし、今日と明日は違う。人間の細胞はどんどん死んで、新しい細胞に入れ替わる。だから人間は変化し、生まれ変わらなければいけない。時代に迎合するのではなく、コロナを通して何が一番大事かを見極めて実行すれば良いと思います。

宇宙の歴史は40億年です。長い年月を経て、ここ「しごと場大好き」へ集うメンバー・親・職員・ボランティア…共に生活することが大奇跡だと思います。宇宙を2時間の映画にすると人類が登場するのはわずか2秒です。色々な催物に感謝して、普通に出来る幸せを感じて臨みたいと思います。

2023年 8月

社会福祉法人 調布を耕す会

理事長 原 良男

